

平成 29 年 8 月 30 日

8 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は雨が多く減少傾向の中、材の痛みが懸念。荷動きは各製材工場とも製品市況の低迷や虫害発生で低値入札となったが売行きは好調。入荷が少ない中でも相場への影響は見られず全体的には保合。丸太価格は 6 月に入荷減で値戻しを見せたが、7 月以降は全体的に保合で推移。今後は出材が増えると思われ、製品の荷動きも回復傾向なので、大きな価格変動はないと思われる。

群馬の製材工場は全体的には順調な操業状況。原木流通量は依然少なく、特にスギ 4m 中目材の集荷に苦戦。入荷の多くが間伐材で、全体的に柱下の丸太が多い。虫害発生多く良材は少ない。原木在庫は全体的には確保されているが、材種、径級でアンバランス。製品販売は県内は低調だが、首都圏市場からの引合いと公共物件の発注で先々は忙しい。製品在庫は比較的少なめ。製品価格は全般的に低位安定で変わらず。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は 7 月も好天で出材好調ながら、このまま続くと米国西岸部も加 BC 州同様伐採規制に入る可能性。産地港頭在庫は米国の出材が回復し、製材工場の原木購入意欲旺盛なため低水準で推移。ウェアハウザー社の 8 月積み対日米マツ価格は、前月積比で 10%アップ。米国内製材工場は引続き原木の購入意欲が旺盛で、国内価格と輸出価格の乖離は広がり、9 月積も上昇の見込み。6 月の米材丸太の入荷量は 216 千 m^3 。1-6 累計は前年同期比 9%減。出荷量は 265 千 m^3 で出超。在庫量は前月比 29 千 m^3 減の 222 千 m^3 。日本国内の米材工場は、欧州 RW 集成材値上げで明るい兆し。加 BC 州山火事の影響で米国内製材/パネル価格は高騰中。米マツ 2×4 ディメンションランバーは 2004 年以来の高値を付けている。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)7 月の入荷量は 25 千 m^3 (前月比 14.1%増)、出荷量は 27 千 m^3 (同 10.2%増)。在庫量は 47 千 m^3 (同 2.6%減)。6 月の米国住宅着工は、年率換算 121.5 万戸で前年同月比 2.1%増。ランダムレングス紙発表 7/7 の 15 種木材価格平均は、\$ 422/M で 7 月頭比 5.5%増。産地価格動向は内陸の森林火災が収まらず SPF の新規オファー出ない状況。その他の丸太も

高値維持で資材の価格高騰に歯止めかからない。先行きは入荷量が減少傾向で秋需に向けて資材不足になる可能性。

3. 南洋材

サバは天候不順で原木伐採が低迷。港頭在庫は少ないが市況悪く伐採業者は様子見の状態。インドネシアからの工場労働者がハリラヤ明け後戻らず生産低調。サラワクはサバ地区と同様だが、大手工場が多くあるため需給状況はよりタイト感。PNG ソロモンは雨多く出材は不安定。インドネシアも天候不順で伐採は低調。丸太の入荷はなし、出荷は増加、在庫は減少、製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変わらず。製材品は量の多いフリー板の市況が低調、平割も低位安定。デッキ材は比較的販売好調。

4. 北洋材

シベリア地域の夏山伐採・搬出は順調。輸入製品は中国、日本等の購買意欲が高く、現地メーカーの高値買いも出る中、原料価格は高止まり。丸太価格はカラマツ・エゾマツ・アカマツとも \$ 145-163 で保合。製材品は現地挽きが弱含み、国内挽きは苦戦中。アカマツ原板は \$ 380 で保合。荷動きは現地挽き 3cm × 4cm 上級グレードが需要停滞で価格苦戦、3m タルキ鈍い。国内完成品は良質グレード、胴縁・ヌキそれぞれ堅調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、丸太調達は昨年並で原板は入荷少ない。受注は特殊材が多い。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調、需要は更に増えてきているが価格は横這い。ロシア材は需要旺盛の中、出材増は難しく価格も強い。米材の生産は順調だが内需が好調で価格は強含み。南洋材は出材が依然低調で、価格の強い状況に変化なし。6月の国内合板総生産量 27.8 万 m³のうち、針葉樹合板は 26.6 万 m³で過去最高を記録。出荷量も 26.3 万 m³で過去最高。在庫量は 10.3 万 m³、うち構造用合板は 8.9 万 m³で依然低水準。国産針葉樹合板の 8 月販売価格は横這い。これでメーカー打出し価格は 2 月から 7 か月間横這いで推移。

国産針葉樹合板は 7 月に入り東日本エリア木建ルートでも徐々に受注が増え、乱れていた価格が引き締まりの方向へ進む。納期が若干時間を要している中、メーカーの在庫量や高水準の出荷量を考えると供給面の不安は更に大きくなっている。輸入合板は 12mm 系塗装合板、生型枠合板を中心に品薄感が強く、価格の上昇も強い。現地の原木状況やコストアップを考えると今後更に上昇すると予測。先行き国産針葉樹合板は、プレカット等直需ルートの受注が増えていることに加え 8 月は各工場の生産量が減少することから、さら

に品薄感が強まると予測。輸入合板も短期的な品薄アイテムの広がりと一緒に一層の価格上昇は確実。

6. 構造用集成材

7月のラミナ入港は順調、秋の入港は例年現地の夏休み関連で注意が必要。RWラミナはWWラミナより引合い強く価格も上昇。原料価格アップに加えユーロ高のため国内工場着価格は秋から冬にかけて一気に上昇する気配。国産集成材の受注は引続き好調。販売・荷動きはRW梁桁が良好、WW柱・間柱は一服感。販売先行きは、集成材メーカーは受注残が残っており、8月も販売は好調続く。製品価格は大幅な為替変動やRWの引合い強く、メーカーは8月から1,000～3,000円/m³の値上げ、今後更なる値上げが想定。輸入集成材はコンテナ不足が一部解消したが、RWは高値横這い、WW柱・間柱とも一部荷余り感。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷量は例年を上回り余剰感、解体材は例年並みの入荷。消費は製紙用が一部抑制中でバイオマス発電に流れる、燃料用は夏期定期修理のため抑制。在庫は製紙原料チップ、燃料用共に増加傾向。針葉樹チップ価格は、製紙用は横這い、FIT用は高値材敬遠の動き。輸入チップの発生量は順調、価格は為替レート変動に伴い先行き不透明。国内チップ工場の操業状況は、定期修理の関係で稼働率が大幅減。

8. 市売問屋

国産材の構造材、造作材とも、当用買いが多く市日での活気が見られない。外材の構造材はアカマツが強気配だが、仕事少なく買気乏しい。造作材は当用が続く様子。販売動向は市場内での不足感が無く、材木店も先の仕事が見えてないのか静かな状況。先月に続き土木関係は仕事が出てきているような感じ。

9. 小売

国産材の構造材はスギKD柱・小割・板、ヒノキKD柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合、タモ平割保合。集成材はWW、RWの柱・梁保合。合板は国産針葉樹保合、輸入品は強保合。プレカット工場は見積多くなっている。大工、工務店はお盆休み明け以降の物件があり、多少の忙しさ見られる。

8月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
			同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
			アカマツ (KD) 30×40上級	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 16×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→